

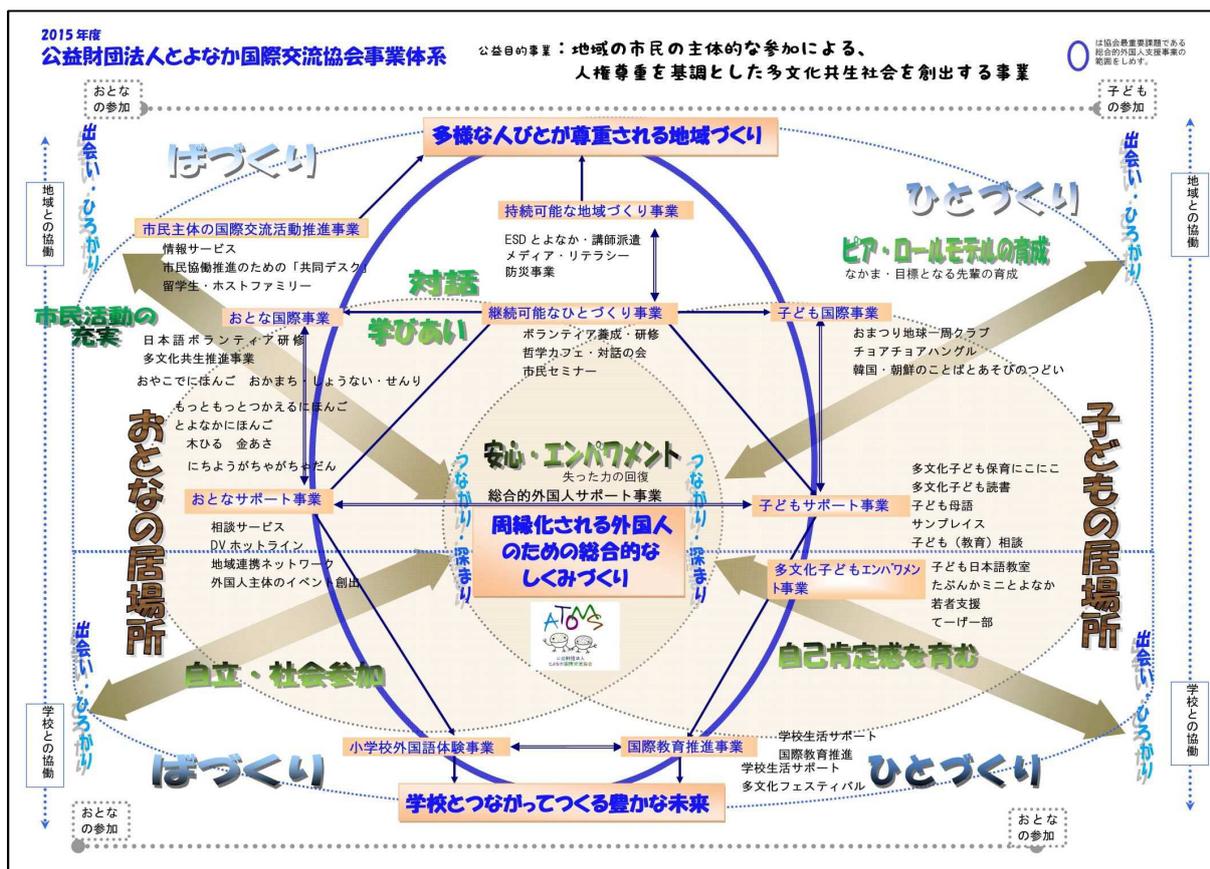
【事例発表】

団体名： 公益財団法人とよなか国際交流協会

団体概要

とよなか国際交流協会は、豊中市や関係団体等と連絡を図りながら、人権尊重を基調とした住民主体の国際交流活動を推進することにより、世界の多様な文化及び人びととの相互認識と理解を深めるとともに、地域の国際化を促進し、新しい地域文化の創造と平和で平等な地域社会づくりに寄与することを目的として1993年に設立されました。

2012年4月1日からは公益財団法人として、「地域における市民の主体的な参加による人権尊重を基調とした多文化共生社会を創出する事業」を公益目的事業として行うことを認定されました。その目的を達成するためにパートナーとしての地域と学校とともに「地域づくり」「人づくり」を推進すると同時に、マイノリティである外国人が自立していける「しくみづくり」を推進し、誰もが暮らしやすい社会を創造していきます。



<2015年度事業体系図>

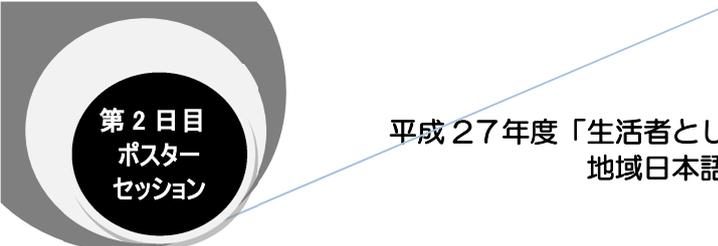
公益財団法人とよなか国際交流協会

〒560-0026 大阪府豊中市玉井町 1-1-1-601 「エトレ豊中 6階」 (水曜日休館)

TEL: 06-6843-4343 FAX: 06-6843-4375 E-mail: atoms@a.zaq.jp

事業実施概要

事業名称	外国人の若者の生活力・表現力アップ日本語事業 ～ユース・多文化エンパワメントプロジェクト～			
地域の課題	就労や就業の移行期であり多様な背景を抱える外国人の若者を対象とした日本語教育の実施と関係機関との連携体制の構築			
事業の目的	①外国人の若者が、自らの興味関心にあった形の活動を通して必要な日本語力を身につける。②若者が自らの力を発揮したり、自己表現をおこなう機会を提供し、地域社会への周知・活動参画をめざす。③潜在的にニーズを抱える若者との関係を構築/再構築し、①や②など若者のニーズにあった活動につなぐ。			
事業内容	取組1		取組2	
	名称	ユース☆かたらい日本語	名称	ユース☆ひょうげん日本語
	目的	若者が多様な人と交わりながら対話できる日本語力を身につける。	目的	仲間やロールモデルとの表現活動を通じて日本語での自己表現を身につけ、発信し、地域社会に参画する。
	内容	①若者のたまりば：自分や他人の語りを聴き合う「対話」型を通じた日本語学習・交流の場。料理や遠足などのアクティビティを通じて共同作業やコミュニケーションの機会を提供。 ②おしごとカフェ：仕事上での悩みや進路選択について互いに語り、聴きあいながら、日本語コミュニケーション力を身につける。また就労や進路選択に必要な日本語表現を習得する。	内容	①ダンス de ひょうげん講座：ダンスを通じて自信を身につけ、自己表現や他者とのコミュニケーションのための日本語を習得する。 ②ラジオ de ひょうげん講座：インターネット配信の番組制作・発信を通じて、日本語の発音・発話を習得する。 ③映像 de ひょうげん講座：映像メディアの制作や映画の鑑賞、意見交流を通じて、メディアや感情表現に使う日本語を習得する。
	対象	外国人にルーツをもつ若者	対象	外国にルーツをもつ若者
	時間	1回 2時間×90回(全180時間)	時間	1回 2時間×210回(全420時間)
	人数	20人	人数	30人
	取組3			
	名称	ユース☆つながる日本語		
	目的	日本語の読み書き支援を関係団体と連携して実施する。また、若者主催の催しにて、ニーズの掘り起こしや地域における課題の確認、若者の表現・発信の機会づくりなどを行う。		
内容	①つながる☆日本語サポート：若者サポートステーション、行政若者支援担当部門などと連携し、若者への日本語支援をニーズに応じた形で提供する。 ②つながる☆フェスタ：若者が企画・運営を担い、活動の成果を地域の人々に発信する。			
対象	外国にルーツをもつ若者			
時間	1回2時間 ×65回(全130時間)	人数	100人	
連携体制	運営委員会を通じ、行政関連部門や関係諸団体との具体的な活動連携を進める。事業の中核メンバーは取組を軸としながらネットワーク構築や情報交換・共有を適宜実施する。			
成果と課題	各取組の継続的な実施により、若者への周知や行政・地域団体との連携が一層進んできた。今後は更なるニーズの掘り起こしや、発展的かつ安定的な事業展開を目指す。			
参加者の皆様へ一言	当日は、当協会の事業報告書や、本取組について記載したお知らせなどを配布予定です。			



第2日目
ポスター
セッション

平成27年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
地域日本語教育実践プログラムB